

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市清水文化会館		
課 名	文化政策課		
指定管理者名	清水文化事業サポート株式会社		
指定期間	平成24年8月1日 ～ 令和9年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和8年6月2日（火）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 相羽 勝裕（観光文化・市民局文化政策課長） ②委 員 能口 富（観光文化・市民局スポーツ振興課長） ③ “ 鈴木 桂（観光文化・市民局歴史文化課長） ④ “ 勝又 英明（東京都市大学名誉教授） ⑤ “ 石渡 裕子（静岡市三曲協会会長）		
評価点 (各委員平均点)	91.8点	評価	A B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	1 履行状況について、施設の設置目的や管理に関する基本的な考え方（要求水準書）を理解し、良好な管理運営が行われている。 2 指定管理者の創意工夫について、指定管理者の持つ経験、専門性、ネットワーク、ノウハウを存分に活かした事業が企画実施され、学校や他機関との連携を通じて幅広い世代へ文化活動を展開している。今後も新たな連携先の開拓や取組により多くの市民が芸術に触れる機会の創出に期待したい。 3 市民（利用者）のサービス向上を図るために、利用者からの意見や要望を真摯に受け止め、可能な範囲で改善に努めた。 4 施設固有の評価として、「中心市街地情報交換会」を継続的に開催し、清水区の商店街、施設等をつなぐ地域連携の基盤を構築した成果として、地域回遊イベントを実現したことは大いに評価できる。また、展覧会事業において、静岡産業の発信やグッズ制作を行い地域の魅力発信に努めた。 5 基本的な履行状況から施設固有の評価項目まで全体的に高評価であり、非常に良好な運営がなされたと評価できる。		

	今後も引き続き、地域の文化活動の拠点としての機能を果たすべく、よりよい事業運営を期待したい。
--	--

(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた。	5	5	3	4	4	4.2
(イ) 職員の対応力向上に努めるとともに、利用者の苦情等には速やかに対応し、利用者の意見を取り入れ、利用者の利便性の向上に努めた。	4	4	4	5	5	4.4
(ウ) 利用者の利便性を考慮し、年間来館者数、貸館利用率について、運営業務仕様書に定めた目標の達成に努めた。	5	3	4	5	5	4.4
小 計	14	12	11	14	14	13
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 市民やアーティストに親しまれる施設を目指し事業運営を行い、市民の認知度を高めるように努めた。	4	4	5	5	5	4.6
(イ) 文化活動の場と高次高質な芸術文化の鑑賞機会を市民に提供するように努めた。	4	4	5	4	4	4.2
(ウ) 地域と連携し、文化を通じて清水区地域の賑わい創出に貢献した。	4	4	4	5	5	4.4
(エ) 多彩な文化を継承し、独自文化を創造するための事業を実施した。	4	4	4	4	5	4.2
小 計	16	16	18	18	19	17.4
合 計	90	87	90	95	97	91.8

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・運営はメディアプロモーション企業ならではの営業のもと、魅力的なコンテンツが誘致された ・市アセットの価値を最大化させようとする計画、戦略を理解できた。15年の取組を資産と捉え、今後の運営に活かしていく姿勢に好感を持つことができた。
【B評価委員】
・見る、育つ、参加する、の視点のもとバランスの良い事業運営がなされている。 ・学校や他機関との芸術連携については5年間の変化が感じられなかった。 ・地域とつながる、地域のにぎわいの創出という視点では、まだまだ取り組める要素があると感じる。
【C評価委員】
・全体として履行状況は良好であった。各利用者の要望に応じて丁寧な対応をしていたことは評価できる。 ・指定管理者の経験・ノウハウ・ネットワークを活かして各場面で必要な事業者や地域等を巻き込みながら事業を企画・実施している。 ・利用者アンケートの母数が少ないところは気になった。母数を増やし、アンケートのとり方を工夫し、正しく評価できるようにしてほしい。静岡市民文化会館休館の影響により増加していることも考えられるが、逆にそのための調整にも苦慮しながらも対応できている。 ・これまでにない興行や展示事業が行われ、市民の文化力向上に寄与している。特に展示事業はこれまで美術館やギャラリーに足を運ばなかった方にも受け入れやすく、興味をひく内容で、幅広い世代への来客につながったと考える。
【D評価委員】
・総合的にみて、減点の要素がなかった。 ・指定管理者のノウハウが十分生かされていると思われる。 ・市文化会館が改修で休館中であることもあり、この数年はイレギュラーな状態と思われる。 ・客席規模の設定もあるが演劇系がやや弱いという印象を受けました。 ・市文化会館改修休館中であり、この数年はややイレギュラーな状態と思われるが、市文化会館の事業を受け入れて十分な対応をしていると感じた。減点の要素があまりなかった。適切に運営されていると感じた。
【E評価委員】
・要求水準である高次高質な芸術文化公演を開催・誘致とあるが、どの基準をして高次高質と判断すべきか悩ましい。

評価委員会としての意見

施設の設置目的や管理に関する基本的な考え方（要求水準書）を理解し、良好な管理運営が行われている。主催事業においては、指定管理者が有する経験、専門性、ネットワーク及びノウハウを活かし、これまでにない興行や展示事業の実施により、幅広い世代が芸術文化に触れる機会を提供している。また、静岡市民文化会館の休館に伴う利用需要の増加に対しても柔軟に対応し、市民の文化活動の場の確保に貢献した。学校や関係団体等との相互連携についてはこれまでの成果を把握・検証しながら、更なる取組の充実を期待する。

引き続き、利用者への丁寧な対応や適切な施設運営により、高い利用率・満足度の維持に努め、多彩で魅力ある事業を企画・実施してほしい。